



# 高山自動車短期大学と連携したまちづくり

## ◆1 高山自動車短期大学と連携協定を締結しました

高山市と高山自動車短期大学は、多様な分野で連携・協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的として、9月29日(水)に連携協定を締結しました。

### これから連携をすすめていく項目

項目	①学生に対する支援や育成	②市民の学習機会の充実や地域の課題解決	③防災体制の充実
具体的には…	地元学生の授業料一部免除などによる入学の促進 卒業生の地元企業への就職促進 など	市民への学びの場の提供 学生の地域活動への参加 など	災害時における大学施設の開放 など

創立60周年を機に、改めて、地域の皆さまに認知され、地域に貢献できる短期大学でありたいとの思いを強くしております。  
この度の連携協定締結を皮切りに、高山市と高山自動車短期大学が共に持続的な発展を続けられるよう、さまざまな分野で知恵を出し合い協働を進めていく所存です。



さかい すずむ 学長

## ◆2 大学の紹介

**【沿革】**高山自動車短期大学は、昭和36年の開校から半世紀以上の年月を重ねた飛騨地域で唯一の高等教育機関です。これまでに多くの若者が全国各地から高山市に移り住み、知識や技術を得て巣立っています。

**【学科】**現在、自動車工学科および専攻科の二つの学科・課程があり、128人が学んでいます。自動車工学科では、クルマに関する知識と技術を、基礎から応用に至るまで徹底して習得します。また、電気自動車やボディー・リペア、二輪車、輸入車、大型車・重機等、クルマについてより深く学べる多彩な選択科目も開設されています。学生の多くは、二級自動車整備士の国家資格取得を目指し、勉学に励んでいます。専攻科では、一級自動車整備士の国家資格取得を目指し、さらに2年間、クルマに関するより高度な知識と技術を習得します。



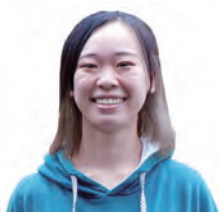
**【施設・設備】**創立60周年を迎える今年、待望の教育施設「実習センター」が完成しました。近年の自動車技術・サービスの革新に対応する最新の整備機器・検査装置を導入したほか、排気ガス浄化システムやLED照明の採用など、環境に配慮した施設となっています。

**【ユニークな活動】**特徴的な教育活動の一つに、モータースポーツへの取り組みがあります。学生の声ではじまった「国際ラリーへの参戦」は、平成8年に初参戦して以来、これまで24年間にわたって続いています。ラリーファンから「国際ラリーに参戦する大学」として、その名は全国的にも知られています。

**【進路】**卒業生の進路は、メーカー系列の全国各地の自動車販売会社をはじめ、メーカーの研究開発部門、自動車部品メーカー、損害保険会社など、クルマに関わるさまざまな業種に幅広く就職しています。



新たに今春完成した「実習センター」



にし いりか  
1年生：西 伶果さん  
(高山市出身)

いままで過ごしてきた生活環境を変えることなく、大学に通うことができるので、とても安心していきます。

他県出身の私にとって初めての地でしたが、いまはここ、「飛騨高山」での学生生活を満喫しています。



もうり たいき  
2年生：毛利 太哉さん  
(福岡県出身)